

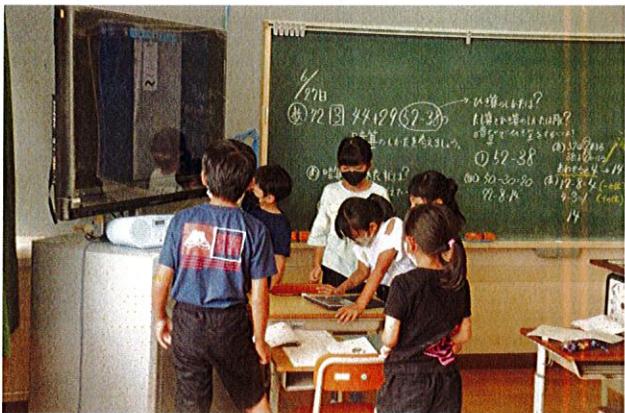
津市立ハツ山小学校だより

# この学校にわたしたち

2023. 9. 11

N030

## 家庭学習と授業との連動



運動会や遠足が近づいてくると教室の窓にて  
るてるぼうずがつるしてあることがよくあります。  
きっと子どもたちが「ぜひとも晴れてほしい」との  
願いをこめて一生懸命作ったのだろうと想像す  
ると微笑ましく思えます。地球沸騰化のせいな  
のか、今年は熱帯低気圧から次々と台風が発生  
し、ダブル台風・トリプル台風の状況がしばらく続  
いています。河川の増水・氾濫や土砂崩れなど  
災害のニュースも多く聞きます。お盆に接近した

台風の影響で通勤途中の川の水位も道路と変わらぬところもまで上昇しているのを見ました。6月、梅雨の時期であるにも関わらず、異称は「水無月(みなづき)」と呼びますが、これは一説には「水悩月」を語源とし、“水に悩まされる時期”を表現したものと言われます。全国のどこも被災しないよう、行事に関係なくてるてるぼうずを作つておきたい気持ちでいっぱいです。さて、このハツ山地区においてもかつて国道165号線沿いの店舗が土砂崩れにあり、その後、閉店したと聞きました。ちょうど今、4年生の社会で「自然災害」について学習をしています。今回は家庭学習としてタブレットを持ち帰り、調べたり聞き取ったりしてると担任から聞きました。津市においては家庭学習で調べたり、聞き取ったりし、それを用いた授業を行っていくことにより子どもたちが主体的に学習していくことを大切にしています。タブレットは持ち帰りによる破損で修理代の心配もありますが、今後も各学年で家庭学習と授業を連動させながら、“学びの質”を高めていきたいと考えていますのでご理解とご協力を宜しくお願いします。

## コミュニケーションの第1歩は元気なあいさつから

民間企業のコミュニケーションに関する研修を担当しているある人が「重要なコミュニケーション能力の一つは自分から心をこめて挨拶をすること」とあると話しているのを聞いた記憶があります。一説には人の第一印象は①表情・態度②声の調子③話す内容の順に決まると言われています。私はかつて担任をしている時に学級の子どもたちに「あいさつに関して人は3つのタイプがあり、1つは自分からあいさつする人、2つ目は相手があいさつしてくれたら返す人、3つ目は相手からあいさつされてもしない人だよ。自分はどのタイプでありたい?」と聞いたことがあります。子どもたちは1つ目のタイプを目指し、顔を見たらすぐにあいさつするようになりました。朝、校長室のドアを開けて「おはようございます」と元気に入ってくれる児童がいます。私もどの子に対しても明るく爽やかなあいさつができるように心がけていきたいと思います。

